



首都圏産業活性化協会会員の構成(令和7年4月15日現在総数557) ●営利法人：277(個人事業主、金融機関含む) ●教育機関28 ●団体73 ●自治体20 ●個人会員159(コーディネーター含む)



トップインタビュー

山陽精工株式会社 代表取締役社長 白川 太氏

山陽精工は、部品加工・組立製造受託のモノづくり事業、高温観察装置「SMT Scope」を開発・販売するSMT事業、医療機器事業を3本柱として、グループで事業展開しています。創業時は光学製品の金属切削加工から始まりましたが、自社製品の製造・販売により“脱下請け”を実現。自社医療機器に加え顧客製品のOEM（相手先ブランドによる生産）やODM（相手先ブランドによる設計・生産）、薬事支援を行う医療機器事業では、海外にも展開しています。同社の白川太社長に事業の強みや経営方針について聞きました。

自社製品で“脱下請け” 医療機器は海外展開も

「山梨から陽が昇る」

当社は光学機器や難削材の精密部品加工、産業機器のOEM受託、ものづくりネットワーク「製造支援部隊」によるソリューションを手掛けています。自社製品として高温観察装置などを製造販売し、2013年には医療機器メーカーのオサチを買収して子会社化、医療機器事業に参入しました。医療機器のOEM/ODM受託や、国内外の法規制対応などを支援する薬事支援サービスも展開しています。

山陽精工という社名は、山梨の「山」と、太陽の「陽」が由来で、「山梨から陽が昇るような会社をつくる」という願いが込められています。創業者である私の父が、地元・大月の町工場で修業を積み機械加工のノウハウを教わった後、独立する際に先輩社員の方から授けられたと聞いています。

私がサラリーマンを経て当社に入社したのはちょうど、バブル真ただ中の87年で、当時は従業員約30人の典型的な町工場でした。その後、91年にバブルが崩壊すると、会社の売り上げは約7割も減り、従業員もぼつぼつと抜けていき、社内に閉塞感が漂っていました。

そこで初めて、私は従業員と車座で1年くらいかけて、会社の将来について話し合いました。その話し合いの中から生まれたのが、今の経営理念にもなっている「自分の子供を就職させたい会社」という言葉です。「下請けから脱しメーカーになりたい」という従業員の願いも受け、自社製品の開発を始めました。

念願だった自社製品の開発

当社が関わっている光学製品から着想を得て、高温環境下で材料が溶けたり成型されたりする様子を、きれいな画像で見られる観察装置のアイデアが浮かびました。ある時、山梨県工業技術センターの연구원の方から、欧州連合(EU)のRoHS指令(特定化学物質使用規則)により電子機器の実装で融点が高い鉛が使えなくなり、高温で実装することによる不良が問題になっていると聞きました。そこで、基板実装向けの高温観察装置に需要が見込めるとアドバイスをもらいました。

99年に本格的な自社製品第1号の発売にこぎつきました。自社製品の開発を通じ、中小企業が“メーカー”になるためには異業種



組み立て作業風景

や産学官での連携が必要だと考え、TAMA協会にも加盟し、勉強会に参加したり台湾企業との交流会に参加したりしました。

人材育成が一丁目一番地

当社の強みは、自社製品の開発・製造と受託設計・製造の両方に知見を有していることです。医療機器でも自社製品を持っているため、市場で何か問題が起きても責任をもってアフターフォローができます。医療機器製造では、日本だけでなく欧州・

米国などの法令・規格に対応し、医療機器に特化した国際規格「ISO13485」も取得済みです。私たちはOEM/ODMにおいて、お客様から技術管理・品質管理・環境管理を丸ごと引き受け、責任をもって実行することを方針としています。

事業が多岐にわたる中で、それを動かすのはすべてが“人”です。社長としてなすべきことの一丁目一番地として、人材育成を掲げています。お客様を満足させる仕組みを作るには、従業員が皆でアイデアを出し合い考えた方が良いというのが方針です。そのためにも、従業員が会社に満足して幸せになれるようにすることが、私の役割だと考えています。



血圧脈波検査装置「ArterioVision」



高温観察装置「SMT Scope」

商号 山陽精工株式会社
代表者 代表取締役社長 白川 太
所在地 山梨県大月市猿橋町小沢1435
従業員数 140人(グループ全体)
創立 1963年11月
ホームページ <https://sanyoseiko.co.jp/>



My proud technique is...

TAMA協会会員の

今月の

ワザ自慢!



効率アップ、品質向上、明日のイノベーションのため、独自に磨いた技・業・ワザに学びたい。コンペティターや見えない市場を想定し、自社の強みを打ち出すところに成功の鍵がある。

ITソリューション・システム開発 アイフォーコム株式会社

現場発想の「作業員みまもりサービス」

アイフォーコム(横浜市神奈川区)は、ICTによる“笑顔循環型社会”を目指し、ITソリューション事業、システム開発事業、先端技術に取り組んでいる。2018年に導入した「作業員みまもりサービス」は、工事現場や工場などで作業員が抱える熱中症発生のリスク低減や転倒・転落などの労災事故の早期発見に役立っている。25年6月の労働安全衛生規則(省令)改正により、熱中症対策が罰則付きで義務化されるため、「たくさんの問い合わせをもらっています」(同社ソリューション営業部の市川祐二氏)。

熱中症対策の義務化では、暑さ指数(WBGT)28℃もしくは気温31℃以上の環境下で、連続1時間以上または1日4時間以上の実施が見込まれる作業が対象となる。事業者には熱中症の発生を報告するだけでなく、ウェアラブルデバイス(身に着けて使用する電子機器)の活用による症状の早期発見なども推奨されている。

作業員みまもりサービスは、作業員の位置や姿勢から滞留状態を検知する滞留検知、転倒・転落検知、位置検出、熱中症危険度検知を基本機能としている。さらにオプション機能としてBluetooth接続で連携する脈拍数監視、深部体温監視、ガス検知、水没検知がある。用途としては「熱中症対策や高所作業での転落検



知、位置確認、夜間作業時の異常検知、広大な現場での作業員の遠隔見守り、プラント内での作業員の位置確認などがあります」(市川氏)。同サービスは大手から中小企業まで延べ約1500ユーザー、百数十社への導入実績があるという。

作業員が装着する端末として、コンパクトスマートフォンとタバコ箱大の専用端末があったが、4月にフックやストラップで装着できるペンダントモデルを投入し、6月にはリストバンドモ

デルの提供も予定する。これらはスマートフォンやゲートウェイ機器が不要で、特にリストバンドモデルは衝撃検知や血中酸素飽和度検知、脈拍検知、位置情報検知、SOS発信が行える。

次の段階では、「心拍数の推移など個人の状況に応じて、警報を出せるようにしていきたいです」(同)と話している。

商号 アイフォーコム株式会社
 代表者 代表取締役会長 加川 広志
 所在地 横浜市神奈川区鶴屋町3-29-11
 創立 1993年12月
 ホームページ <https://www.iforcom.jp/>



【本コーナー掲載企業募集中】

貴社の「ワザ自慢!」を記者が取材します。お問い合わせは、事務局(info@tamaweb.or.jp)まで



TAMA協会

合同新人研修2025を開催

8社から15名の新人を迎え4名の外国人も参加



周囲との連携・相互信頼がテーマ

TAMA協会は4月2～4日の3日間、2025年入社の新入社員から社会人3年目までの人を対象に、「周囲との連携」「相互信頼」をテーマとした合同新人研修を八王子市学園都市センター第5セミナー室(八王子市)で開催しました。社会人・プロフェッショナル人材への第一歩として必要なマナーやコミュニケーション、ものづくり企業で働くための基礎などについて学習。8社から15名の新人を迎え、緊張感もありながら楽しい学びの場となりました。

講師は例年通り、見附誠子・KIBI上級研究員が担当。各テーマについて個人ワークを1分間、グループワークを4分間実施し、グループとし

ての考えを発表する流れで行い、受講生同士のコミュニケーションが図られました。中でも、受講生がビジネスマナーの習得に高い関心を示していたことが印象に残りました。マナー研修では目礼、会釈、敬礼、最敬礼を解説した後に、実践練習も行われました。

日本で活躍する外国籍人材

また、今回の受講生には4名の外国籍人材(中国、モンゴル、ベトナム)も参加し、日本語の語学力の高さにも驚かされました。日本で活躍する外国籍の人々が今後ますます増え、活躍すると実感できました。このほかに「会社の目的や役割」「社会人の目的や役割」などについて、各

実施報告

Layer1:交流

つなぐWa Session・特別編 異業種からのロボット事業参入セミナー

TAMA協会は3月13日、ロボット企業交流拠点「ロボリンク」(神奈川県藤沢市)で、つなぐWa Session特別編として「新たな市場を切り拓く! 異業種からのロボット事業参入セミナー」を開催しました。講師として浅井伸一(サイ・エンジニアリング代表取締役(横浜国立大学理工学部非常勤講師))が、ロボット開発の要点について講演。その後、参加企業による自社の紹介、ロボットに関する質疑応答などが行われました。講師と参加者、参加者どうしの相互理解が図れる充実したイベントとなりました。

令和6年度事業報告会・令和7年度施策等説明会

TAMA協会は3月14日、東京たま未来メッセ(東京都八王子市)で令和6年度事業報告会・令和7年度施策等説明会を開催しました。野長瀬裕二TAMA協会会長の挨拶に始まり、「首都圏ものづくりDX推進コミュニティ」についてTAMA協会の小川直樹が報告し、神奈川県立産業技術総合研究所の守谷貴絵(事業化推進・デザイングループグループリーダー)が総評しました。

「相模原市DX化促進支援事業 サイバーセキュリティ座学研修」では、ペンニットの吉田靖子氏、相模原市産業振興財団の濱田茜氏が発表をしました。また、「カーボンニュートラル研究会」で、SBT認定支援についてTAMA協会の平田知之が2社の取り組み事例を交えながら報告。「日台産業協力架け橋プロジェクト等」については、芳賀啓一TAMA協会事務局長が報告しました。「経済産業省令和7年度施策説明」においては、関東経済産業局地域経済部の室住敬寛課長が登壇し、閉会後には懇親会も開かれました。

第51回つなぐWa Session

TAMA協会は3月28日、「春の余暇・休日をもっと楽しもう!」をテーマに第51回つなぐWa Sessionを八王子市新産業開発・交流センターで開催しました。ゲストスピーカーとして、休日ハック(東京都台東区)の吉田藍香(パートナーシップ事業部・部長)が「本日リリース!京王電鉄コラボ企画 第二弾『小説×街歩き』あの駅に願いをこめて 南大沢編」と題し、複数の鉄道会社・地域と共同で、「街全体を体験に変える」をコンセプトに街歩き体験コンテンツを紹介しました。

また、ゲストスピーカーの2人目としてスポーツジャーナリストの瀬戸口仁氏が「にわかメジャーファンが

『メジャー通』になるために知っておきたい10のここだけの話」と題し講演。高校野球やプロ野球、メジャーリーグでの取材経験や、親交が深かった日本人メジャーリーガーの裏話なども披露しました。

第10回つなぐWa Session・Global

TAMA協会は4月21日、東京たま未来メッセ(東京都八王子市)で「グローバルに活躍できる人材を育む!」をテーマに、2名のゲストスピーカーによる第10回つなぐWa Session・Globalを開催しました。スポーツジャーナリストの瀬戸口仁氏が「アンガーマネジメント」の手法について紹介。海外産業人材育成協会(AOTS)の吉澤美加子氏が「海外拠点の人材育成-AOTSの施策 活用事例のご紹介」と題して、東京・大阪での研修センター開設や海外での事務所開設の話にも触れ、170カ国・地域から46万人の技術者や経営管理者を研修生として日本に受け入れた実績について講演しました。

今後の予定

(予定は変更になる可能性があります。詳細はホームページをご確認ください)



第4回「首都圏産業活性化協会ゴルフコンペ」

日時: 2025年5月14日(水) 開会式8:00~ 場所: 越生ゴルフクラブ(埼玉県ときがわ町)
内容: 10組(予定) 会員の皆さま同士の親睦と連携強化を目的として開催します!

第43回つなぐWa Session はむらイブニングサロン

日時: 2025年5月16日(金) 16:00~
場所: 羽村市産業福祉センター(東京都羽村市緑ヶ丘2-11-1) 内容: 詳しくはホームページ参照

つなぐWa Session 新都心イブニングサロン

東京農工大学共催(予定)、日本ベンチャー学会コラボ企画

日時: 2025年5月29日(木) 15:00~
場所: 東京農工大府中キャンパス(東京都府中市晴見町3-8-1) 内容: 詳しくはホームページ参照

「未来モノづくり国際EXPO」 TAMA協会ゾーン

日時: 2025年7月16日(水)~19日(土)
場所: インテックス大阪(大阪市住之江区南港北1-5-102)

[7/12~全7回シリーズ]
OKAMURAメソッド「イノベーション・チーム・プログラム2025」
~確実に変化できる! 創発型の伴走支援プログラム~

TAMA協会は、創発型の伴走支援プログラムを企画しました。会員企業のみならずの「売上UP」「販売力強化」「商品差別化」「競争優位の獲得」を目的として、『人と商品』にフォーカスしています。講師には岡村衛一郎(経営コンサルティング・アソシエーション)社長、芳賀啓一TAMA協会事務局長が担当します。詳しくはTAMA協会のホームページを参照の上、申し込みができます。

2025年7月12日(土) 10:00~16:00
2025年9月6日(土) 10:00~16:00
2025年12月13日(土) 10:00~16:00
2026年2月21日(土) 10:00~2月22日(日) 14:00
※合宿

高瀬総合法律事務所

困ったとき
困ることが起きる前
企業の発展をさせたい時
ぜひご相談ください。

下請法・株主総会運営
IPO・M&A
特許・知的財産

KANAGAWA OFFICE
相模原市緑区橋本6-5-10 中層第2ビル2-E
TEL 042-770-8611 FAX 042-770-8622

TOKYO OFFICE
東京都新宿区西新宿1-20-3 西新宿高木ビル8階
TEL 03-3344-6155 FAX 050-3558-6358

株式会社厚木ミクロ

従業員の
70%は
未経験者

スタッフ大募集!!

事業拡大のため、一緒に働いてくれる仲間を探しています。
従来の工場のイメージとは異なる“クリーンルーム”で
最先端の「ないモノづくり」を一緒に体感してみませんか?

求人の詳細/ご応募は、厚木ミクロのホームページから
お問い合わせ ☎ 046-248-7007 9:00~17:00 (土日祝を除く)

ATSUGI MICRO CO.,LTD.
ORIGINALITY OPENS THE WAY



自がしっかりとした考えを持ちながら発表している姿は頼もしく感じました。

3日目にはビジネスメールの練習や自社を知るプロセスとして「自社の理念や社是」「自社の顧客」「自社の製品」など個人ワークにも取り組みました。最後には「これからの目標設定」として自分が会社に提供できる価値や、ビジネスマインドについて考える姿は真剣そのものでした。受講生が会社で活躍してくれることを期待します。

第二部ではモノづくりの基礎講座として

TAMAコーディネーターの横山勝治氏が担当し、「ものづくりとは何か?」というテーマでプラモデル製作の動画、パソコンの組立工程の動画を見ながら部品製作、塗装、組立、検査の工程(プロセス)を解説。標準化(誰がやっても同じことができること)や多能工化(一人で色々な作業ができること)なども紹介しました。

作業指示書、作業手順書、検査成績書などの工程内作業や製品の企画から販売までの仕事の流れ、販売価格と製造原価と利益の関係や、売



上高と収益の関係については、図を用いて関連性にも触れながら損益分岐点についても説明しました。

生産効率について学ぶ

最後にボールペンの分解・組立・検査という工程を1人で行うワークと、3人で協力しながら行うワークを体験。セル生産方式と順送り生産方式を実際に体験してもらい、1人の場合と3人の場合の生産効率についても学んでもらいました。

合同新人研修は会員企業の要望を受け始

まったもので、毎年多くの企業がリピートする評判の良いサービスです。昨今では人材確保に苦労する企業も多く、さらにはせっかく入社した新人が辞めてしまい、計画的に採用が行えないという悩みを聞いています。自社内でのOJTが基本となりますが、その前段階として合同研修で社会人としての基礎講座を受けることにより、受講生は緊張感をもって社会人生活を始められると感じています。興味のある方は、気軽に当協会へお問い合わせください。



広げよう会員の輪 新規会員の紹介



新規会員との意見交換・面談を希望する方は、事務局へご連絡ください。

NEW

3DとAIを融合させ“企業”や“自治体”のマネタイズを最大化

スターウォーズの3D世界をビジネスに実装し、事業のマネタイズを実現します。VRゴーグルなしで3D映像が見られる「裸眼3Dディスプレイ」。公共の場で大人数に向け3D映像を流し足を止め、企業の広告や自治体のPRを3Dへとアプローチし、インパクトのある広告として最大限に効果を発揮する事ができます。また世界初「映像変換AI」により、2Dの画像でも3Dに変換する事ができ、誰でも簡単に3D技術を使いこなす事ができます。



マジックディスプレイテクノロジー株式会社
 (東京本社) 東京都中央区銀座3-14-17
 TEL 03-6260-4822
 URL <https://mdisplay-tech.com/>



NEW

ゆとりある街づくり。

弊社は1972年会社設立より半世紀以上が過ぎました。これまで建築設計分野において関東・東北一円で活動を行ってまいりました。

建築設計活動を通して培ってきた様々な知識・経験・ノウハウに加え、国土交通省から設計事務所として唯一選定されているPPP協定パートナーとして「官民連携」や「産学連携」を通じ、人々に希望と活力を与え、安全で安心できる建築と環境づくりにお手伝いをさせていただきたいと考えています。



株式会社松下設計
 さいたま市中央区上落合1-8-12
 TEL 048-840-4118
 URL <http://www.matsushita-sekkei.co.jp>



NEW

個人会員

山崎 善男 (やまざき よしお) **得意領域** プラスチックについて、樹脂、装置など全ての分野に対してのコンサルタント

一般社団法人 首都圏産業活性化協会

事務局員の紹介



芳賀 啓一
 理事・事務局長



鈴木 直仁
 事務局次長
 兼新事業開発ディレクター



松本 浩造
 シニアテクニカルアドバイザー
 助成金分野専門家



渡辺 豊
 シニアアドバイザー
 産学官連携コーディネーター



八木 誠
 シニア産学官連携コーディネーター
 自治体連携



笠井 俊介
 産学官連携コーディネーター
 WEBエンジニア



小野寺 淑
 総務・経理担当



さかい なつ
 産学官連携コーディネーター
 助成金分野専門家



佐藤 隆洋
 産学官連携コーディネーター
 医用機器分野専門家



小川 直樹
 デジタルビジネスプロデューサー
 中小企業診断士・ITコーディネーター



松尾 徳人
 ものづくりビジネスプロデューサー



平田 知之
 カーボンニュートラル推進プロジェクトリーダー
 環境省認定制度 脱炭素アドバイザー
 ベーシック 西武信用金庫出向

編集後記

先日、17年間お世話になった炊飯器を買いました。壊れてはいませんが、経年劣化で外観がボロボロになりました。前の炊飯器を気に入っていたので、躊躇なく同じメーカーの炊飯器を買いました。値段を少しケチったからか、新しいものは美味しく炊けません。次回はどのメーカーを選ぶか少し考えてみます。ふと、匠大塚の「確かな品質」という理念を思い出しました。品質と価格の両立は難しいもの。品質を高めブランドイメージを向上させるのか、低価格志向に合わせ品質を犠牲にするのか、メーカーにとって大きな決断になるのだと思います。(小野寺)

TAMA経済NEWS(つなぐWa)では広告協賛いただける企業を募集しています。詳細は事務局(info@tamaweb.or.jp)までお問い合わせください。
【サイズ】①横57[㍉]×縦48[㍉]、②横57[㍉]×縦100[㍉]、③横129[㍉]×縦98[㍉]、④横129[㍉]×縦142[㍉](特別枠)の計4タイプがあります。

発行元・問い合わせ

一般社団法人首都圏産業活性化協会会報「つなぐWa」は、協会ホームページへ掲載し、メールマガジン等で企業・自治体・商工団体・金融機関等へご案内しています。
 一般社団法人首都圏産業活性化協会 Email: info@tamaweb.or.jp URL: <https://www.tamaweb.or.jp/>

■八王子事務所

〒192-0083 東京都八王子市旭町 9-1
 八王子スクエアビル 11 階
 TEL: 042-631-1140 FAX: 042-631-1124

■羽村サテライト(月曜日休館)

〒205-0003 東京都羽村市緑ヶ丘 2-11-1
 羽村市産業福祉センター 1 階
 TEL: 042-570-3481 FAX: 042-570-3482

■相模原サテライト

〒252-0131 神奈川県相模原市緑区西橋本
 5-4-21 さがみはら産業創造センター(SIC)
 Desk10